

第6章 都市下層および農村の女性を 取り巻く環境とジェンダー概念

以上の各章にあげた文献からもわかるように、1952年革命以降、政治・労働・教育面において女性の権利が大幅に拡大し、女性を取り巻く状況に進展がみられた。しかし、多くの研究者は、女性の地位の変化は、社会階層間や都市・農村間の比較において必ずしも同じ経過をたどっていないとみている。また、1970年代以降の社会経済開発は、政治・経済・社会的に、あるいは文化・宗教的な価値観に対して急激な変化をもたらし、都市階層間の格差や都市・農村間の格差、さらには男女間の格差さえ拡大させたと思なす研究者も多い。

本章では、都市下層や農村の女性たちを取り巻く環境や支配的なジェンダー概念、あるいは社会変化との関連において彼女たちの役割や地位について扱った文献を紹介する。また、文学作品や映画、テレビなどのマスメディアを通じて生成されるエジプト女性のイメージやジェンダー概念なども重要な主題と思われるが、このような研究文献については文献目録に収録するだけに留める。

I. 都市下層の女性を取り巻く環境

都市下層における女性の状況について論じた文献は、非常に少ない。ここでは、社会学者、人類学者の文献を紹介する。

まず、都市下層の女性の自己イメージを論じたものに、アル・メッシリー(S. el-Messiri)の『カイロの伝統的な都市女性の自己イメージ』(E287)がある。カイロではいわゆる典型的な下町っ子(男性)を「イブン・アル・バラド」(ibn al-balad)と呼ぶが、これに対応する女性の呼び

方は、「ビント・アル・バラド」(bint al-balad)である。著者は、このような下層の女性を、人情の機微に通じた関連なたくましい女性として捉えている。たとえば、彼女らの人間類型を地域の近隣関係のなかに溶け込んで生活し、その地区に自分のアイデンティティを見いだす「ビント・アル・ヒッタ」(bint al-ḥiṭṭa—地区の娘)、肉屋や八百屋、スークの売り子(ビント・アル・スーク [bint al-sūq])など生業をもつ女性として説明する。特に興味深いのは、彼女たちが自らのイメージと対比させて都市の他の階層を類型化している点である。まず、「ビント・アル・ザワート」(bint al-dhawāt—上層の女性)は、西欧的な装いで気取った怠惰な女性、また「ファッラーハ」(fallāḥa—農民女性)は、農村から移ってきた不器用で清潔感のない女性、「ムアッリマ」(Mu'allima—教育を受けた女性、すなわち中間層の女性)は、世間知らずで、この地区から離れることを望んでいる女性だとみているという。

カイロの庶民地区の日常生活を描いたものに、ヴィカン(U. Wikan)の『カイロの庶民生活』(E309)がある。これは1970年前後に著者が、カイロの典型的な庶民地区であるインババにおいてフィールドワークを行い、博士論文にまとめたものを一般向け読書に書き改めたものである。貧困と闘う女性の日常生活について、子供の生活環境、結婚の成立過程や家庭の形成を通じて描きながら、彼女らの社会システムの特徴や生活改善の可能性について言及している。このような都市の庶民生活を詳細に調査した文献は、非常に少ないため非常に貴重な文献と言える。

社会・経済環境や家庭状況を調査したもので、ルー(A. B. Rugh)の『カイロ市の地域社会における貧困との闘い』(E298)がある。この調査の対象は、カイロの代表的な庶民地区であるブーラク地区の175家族で、1976年から1978年に実施されたものである。著者は、下層地区における典型的な居住環境や家庭環境、妻と夫の役割分担、結婚、子供の成長過程、永続的な貧困との闘いについて主に女性から情報を得て分析し、いかに社会階層間の移動に障害が多いかという点を説明するものである。また特に夫婦間の役割分担については、妻の役割が家庭に制限されているにもかかわらず、必要な場合に妻が経済的な役割を担うことは地域社会においても容認されている点を指摘する。これは、厳密に経済的社会的役割が課せられている夫に比べて、妻の役割の方が許容範囲が広いことを示すものだとしている。また同様に、ルーは『現代エジプトにおける家族』(E299)において、より概説的ではあるが、現代のさまざまな階層における家族形態および家族構造の変化、あるいは逆に普遍的な文化的形態について述べている。

これに対して、主に女性の日常的生活や苦悩を自らの日常生活を語る形式で構成されたものに、アーリー(E. Early)の『ファーティマ；ブーラクのエジプト女性の人生』(E269)とアティーヤ(N. Atiya)の『フル・ハール(重い金または銀のくるぶしの枷)；5人のエジプト女性が人生を語る』(E263)がある。ここには、一夫多妻や離婚に苦悩する女性、姑と嫁の争い、女性の割礼や結婚の儀式、子供の死亡、日常生活に溶け込んでいる妖術や迷信、原始的な民間療法などが女性の口から生き生きと語られていて興味深い。

II. 農村女性を取り巻く環境とジェンダー概念

まず多くの研究者が、農村女性について論じる場合、エジプト社会特有の伝統や習慣に焦点を当て、女性の地位向上に対する文化的、伝統的な障害としてイスラームの伝統的な解釈、あるいは家父長的な家族社会を説明する傾向が強い。

まず、フェミニストの多くは、女性に対する性的な抑圧として女子割礼の問題をあげる。女子の割礼習慣は、西および東アフリカやアラビア半島の一部、エジプトなど世界の約40カ国に今なお残るとされる。エジプトの女子割礼を論じたものには、アサド(M. B. Assad)の『エジプトにおける女性の割礼』(E262)、ハンセン(H. Hansen)の『クリトリス切除；エジプトの女子割礼』(E276)がある。

たとえばアサド文献は、割礼の定義や起源、範囲についてエジプト人の価値観における宗教や法的位置づけと関連づけ、事例をあげながら社会学的に論じたものである。この文献によると、エジプト人女性の約75%が割礼の経験があるという。1958年に医師による部分的な割礼手術以外の女子割礼を禁ずる法律が成立したが、いまなお政府が全面的に女子割礼を禁止しているわけではない。すなわち、これには明らかに伝統的な慣習と混じったイスラームの影響が残存していることを指摘する。特に、教育を受けていない下層の家庭にこの習慣が強く残る一方、教育を受けた近代的な家庭では、子供たちがこの習慣をまったく知らないなど、この問題に対する認識の隔たりが大きいという。そして同文献は、この問題に対する女性団体や政府機関の関心が低い点にも言及している。

また、エジプト社会における支配的価値観、家族制度の正当化、あるいは男女間に要求された慎みの掟として機能する「イルド」(ird-一名

誉)について考察したものに、ドッド(P. C. Dodd)の『アラブ社会における家族の名誉と社会変化の力』(E268)がある。この文献は、1960年代におけるアラブ社会、特にエジプトにおける都市化や社会変革、教育などの変化が女性に対するイルドの価値観にどのような影響を及ぼしたかを論じたものである。著者は、とりわけ農村に強く残るイルドの価値観は、女性の早婚や社会的活動の制限、多様な職業への参加の禁止、教育に対する二面性などを包含すると述べる。特に、社会変化と出生率や労働参加、教育参加との関係を例にあげて説明し、まず60年代には、急激な都市化現象にもかかわらず、都市と農村の間には出生率の相違がみられなかった点を指摘する。また、ナセル社会主義体制における男女平等化政策は、女性の労働参加率に大きな進展をもたらさなかった点、女子の初等教育が普及したものの、依然として思春期以降の退学率が高い点などをあげる。結論として著者は、これらの社会変化の進行を妨げる要因は、イルドの価値観にあると見なすものである。

また、エジプトの伝統的社会における女性の「低い」地位を説明したのものには、サーアーティー(S. Sā'ātī)の『エジプト農村女性の文化的障害と開発参加：批判的分析』(A323)などがある。彼女は、このなかで、農村女性は、都市の女性以上に社会的経済的な活動に参加し、男性以上に多くの労働に従事しているにもかかわらず、昔から地位が低く男性に従属する状況が続いている点を強調している。たとえば、エジプトの諺には次のようなものがあるという。「娘しかもたない男は犬(畜生)のようなものだ」、「男性の影は壁の影ではない(男性の保護の下が、つまり、結婚によってのみ最も女性が保護されるという意味)」。また、女性が外出するのを好まないたとえには、「家から出る女は地位を低くする」、「敷居(家)の中に座っていなさい。友

達のなかに座ってはいけぬ」などである。これは、男女間の役割関係において男性を「公的」、女性を「私的」な領域とする二分法から来るとみるものである。さらに、農村では都市に比べて離婚や一夫多妻の割合が高く、その主な理由は、子供、特に男子が生まれにくいためであり、離婚や夫が第2の妻を迎えることに対して農村女性は常に恐怖感を抱いているという。著者は、女性がより高い地位を確保するためには、「子供、特に男子を多く生み、長い結婚期間を経ること、女性が歳をとっていること」の3点をあげる。さらに、農村女性の社会参加を困難にしている識字率の低さが女性の発展の根本的な障害である点や、未だに子供や夫との関係または社会生活において発生した問題の解決を占いや迷信に頼るといった農村女性の後進性を指摘する。

同様の文献に、ムハンマド(A. T. Muḥammad)の『エジプト女性：過去と現代において；第8章エジプト農村女性』(A331)がある。著者は、「子供の数が多きほど自慢であり、子供のいない夫婦は軽蔑されるのが農村社会の風習である。」と述べ、農村の早婚や多産、一夫多妻、離婚、また女性の重労働の問題を指摘する。たとえば、1971年の統計では離婚の90%は第1子が生まれる前であり、また7%は第2子が生まれる前であったという。さらに、ひとり以上の妻を持つ男性の95.4%が非識字者であり、職業においては農業関係に従事する者が全体の41%、さらにその68%が農業賃金労働者か畜産業に従事し、残りの30%が自作農民か地主であった点を指摘する。

しかし、序章にあげたネルソン文献(E12)によれば、1970年代から特にアラブの女性研究者の間で今までの女性研究を見直す動きが始まっているという。これは、女性の公的な「低い」地位を問題にし、男性支配と女性の従属といった

家父長的家族制度、あるいは男女間の役割をそれぞれ公的／私的領域に二分する考え方を再考察するものである。彼女らは、イスラームの解釈や伝統的価値観として位置づけられたジェンダーイデオロギー、あるいは女性のインフォーマルな政治、労働活動などのミクロ的な問題に焦点を当てて女性の役割を考察する。

たとえば、エジプトの女性研究では、ネルソンの『公的および私的な政治；中東世界における女性』(E296)や、モルシー(S. A. Morsy)の『エジプト農村におけるジェンダー、力、病気』(E291)、また後述するアバーザの『農村エジプトにおける女性イメージの変化』(E253)などにそれがみられる。たとえば、ネルソン文献は、女性のインフォーマルな政治的役割に目を向け、より広い政治的な側面から「力関係」を考察している。特に、仲裁における女性の大きな影響力を指摘するものである。

さて、多くの研究は、農村の変化とその女性に及ぼした影響について論じている。特に近年では、湾岸諸国への夫の出稼ぎが妻にどのように影響を及ぼすかに関心が向けられている。すなわち、夫の不在が女性の地位と役割を変えたのか否かについて考察するものである。ほぼ一致した見方では、夫の出稼ぎは、女性の農業労働や責任を大幅に増大させ、一時的には女性が意思決定権を持つという点である。しかし、夫の帰還後における女性の役割の変化については意見が分かれるところである。

まず、女性の役割変化を考察したものに、アブー・マンドゥール(M. Abū Mandūr)らの『夫の出稼ぎが及ぼす社会経済的影響：農村における家族状況および妻の役割（ギザ県2農村の実態調査）』(A310)がある。この文献は、カイロ近郊の2農村138家族を対象に、夫の出稼ぎ期間、家族形態、人間関係、子供の教育、躰け、健康管理、また、夫の出稼ぎ後の主婦の労働、協同

組合活動、農業労働の変化などを調査したものである。出稼ぎと主婦の役割の増加の強い関連性を指摘し、たとえば、夫の出稼ぎ後、農業労働に積極的に参加する主婦が増加する一方で、逆に農業労働から完全に離れる主婦が増加するという両極的な傾向を認めている。また、出稼ぎ年数が延びるにつれて大家族から核家族への移行がみられるし、核家族の場合には、徐々に夫の家族からの干渉が減少する傾向がある点を報告している。

また、出稼ぎが女性の地位に与えた影響を比較的肯定した研究には、ハファギー(F. Khafagy)の『女性と労働移動；エジプトの一農村』(E281)がある。これは、1977年までに男性の約48%がサウジ・アラビアに出稼ぎに出るようになったカイロ近郊の農村を事例にして、出稼ぎが女性に与える影響を考察したものである。著者は、夫の出稼ぎによって妻の労働と責任が増加した一方で核家族化が進み、妻の自己主張や金銭的管理が可能になったと説明する。つまり、以前より決定権を持つようになり、農村女性の自信と自立が強まった点を強調するものである。しかし、なおも夫との関係において妻の年令が強い影響力を持つ点や、子供を持たない妻たちは、夫の家族と同居を強いられ、夫の送金を受け取れないままであるなど、出稼ぎが男女の役割分担に影響を及ぼしていない点も指摘する。同様の傾向を指摘する文献には、ハッターブとエル・ダーエフ(Khattab & el-Daeif)の『エジプトにおける家族構造と女性の役割に対する男性の出稼ぎの影響』(E282)がある。

これに対し、否定的に捉えたものには、テイラー(E. Taylor)の『エジプトの出稼ぎと農村の妻たち』(E307) (E308)やプリנקの『妻の地位に及ぼす夫の出稼ぎの影響；エジプトの事例』(A265)、モルシーの『農村女性と労働、ジェンダーイデオロギー』(E292)などがある。たと

えば、テイラー文献は、全世帯の半数以上が海外へ出稼ぎに行くカイロ近郊の2農村を約15年に渡って観察したものである。著者は、農業形態や農村社会に急速な変化が現われたが、妻の役割や地位を根本的に変化させるものではないとし、むしろ出稼ぎ家族の妻に影響を与える決定的な要因は、家族構造や家族形態であるとする。さらに経済的な富を得た夫の帰還によって元の家父長的な家族形態に戻るか、またはそれがより強化されるおそれすらある点を指摘するものである。

また、出稼ぎに依存した農村社会における女性の変化とイスラーム化現象とを関連させて、より社会経済学的に考察したものには、アバーザの『農村エジプトにおける女性イメージの変化』(E253)があり興味深い。この文献は、デルタの1農村「アル・ワルダ」における女性の日常的活動や女性のネットワークに関する実態調査を踏まえて、農村の伝統的なフェミニズム(traditional feminism—近代国家と連結した近代的フェミニズム[modern feminism]と対比させて著者が用いる)の役割や労働における男女別の役割変化、すなわち農業労働の女性化、非市場的な経済関係における女性の貢献などを論じたものである。著者は、このような公的領域への女性の参加の増加が、一層の「女性解放」または女性の社会意識の増大を導いているという最近の社会学的仮説に対し懐疑的である。むしろこうした説とは逆に、伝統的な社会生活や家庭生活における女性特有の機能を通じて女性が獲得していた「力」、すなわち農村での家父長

制的抑圧に対抗する形でかつて存在した伝統的なフェミニズムが減退している点を強調する。この理由としてアバーザは、国家の新たなイデオロギーとして出てきたイスラーム主義によって、女性の労働を恥とする保守的な意識が生まれたり、あるいは湾岸や都市への出稼ぎの急増によって新しい「ムスリムシスター」の理想像は、イスラーム的な慎ましきのある中間層女性のイメージだとする意識が農村に持ち込まれた点をあげる。つまり、「シャトラ・ファッラーハ」(伝統的な賢い農婦)のような古い世代の女性は、若い世代には受け入れられなくなったというものである。結論として、インフィターフ政策と大規模な出稼ぎは、女性の隔離現象の拡大のような男女関係の変化を起こしたが、この現象は、男性をいわゆる「新市民」(new citizens)に変えたが、女性を「農婦」(peasants)のまま残しているを見なす。彼女の主張には、サアダーウィーのような代表的なフェミニストの考え方に対する批判が込められている。なぜなら、彼女たちは、都市対農村、民衆対国家といったエジプト社会における構造的相違の重要性を理解しているにもかかわらず、アラブ女性全体を家父長制的な抑圧の対象や犠牲者として捉える傾向にあるという。このため、公的領域、職業、国家機能における権利の獲得に女性闘争の重要性を置き、女性の日常生活における活動を無視して、全ての女性の解放を論じているとして、フェミニストらの姿勢を著者は批判するものである。

<文献目録—アラビア語>

- (A309) ابراهيم، هريدى: حقيقة المرأة الريفية . القاهرة، مطبعة الوطن، 1939 . 52 ص .
- (A310) أبو مندور، محمد ومحمد حلمى نوار وعزة تهامي البنداري:
بعض الآثار الاجتماعية والاقتصادية لهجرة الزوج على وضع الأسرة
وأدوار الزوجة الريفية - دراسة ميدانية فى قريتين بمحافظة
الجيزة . المستقبل العربى (120) 1989 : 114-131 .
- (A311) الأمم المتحدة . اللجنة الاقتصادية والاجتماعية لغربى آسيا:
دراسة حالة المرأة الريفية المصرية - تقييم دورها ومكانتها
وبرامجها التدريبية (بحث ميدانى) بغداد، 1988 ، 118 ص
(سلسلة دراسات عن المرأة العربية فى التنمية ، 14)
- (A312) الأمم المتحدة . اللجنة الاقتصادية والاجتماعية لغربى آسيا:
مشاركة المرأة الريفية فى التنمية - دراسة حالة لبعض
المشروعات الانتاجية فى القرية المصرية . تأليف عبد الباسط
عبد المعطى وآخرون . بغداد، 1988 . 114 ص .
- (A313) بسيونى، محمد صلاح: معوقات مشاركة المرأة فى التنمية الريفية .
(الحلقة الدراسية المرأة وقضايا التنمية فى المجتمع المصرى،
7-9 يونيو 1980) القاهرة، مركز دراسات المرأة والتنمية،
كلية الدراسات الانسانية، جامعة الازهر، بالتعاون مـ7 منظمة
اليونسيف، 1980 .
- (A314) التهامى، مختار: تقويم دور وسائل الاعلام بالنسبة للمرأة الريفية .
(أبحاث الندوة الدولية عن المرأة الريفية والتنمية) القاهرة،
جامعة عين شمس، مركز بحوث الشرق الأوسط، 1980 : ص 79-84 .
- (A315) جامعة عين شمس مركز بحوث الشرق الأوسط: أبحاث الندوة الدولية
عن المرأة الريفية والتنمية، القاهرة، 1-4 ديسمبر 1980 . محرر
مراد وهبه . القاهرة، 1980 . 169 ، 197 ص .

- (A316) جويلي، أحمد و ابراهيم يوسف: دور المرأة فى الانتاج الزراعى. وزارة الزراعة، مشروع تطوير النظم الزراعية، 1980.
- (A317) خميس محمد عوض: المرأة والتقدم للخلف - دراسة نفسية للعادات والتقاليد. القاهرة، العربى، 1987. ص 237.
- (A318) رضوان، زينب عبد المجيد: المرأة والمعوقات الثقافية. (ندوة المرأة والتنمية القومية) القاهرة، المركز الاقليمى العربى للبحوث والتوثيق فى العلوم الاجتماعية، 1984: ص 32-36.
- (A319) رمزى، ناهد: التنشئة الاسرية والنمط الشخصى للاناث - دراسة تجريبية فى ثلاث حضرات. (المؤتمر الدولى الثانى للاحصاء والحسابات العلمية والبحوث الاجتماعية، 12-14 أبريل 1977) القاهرة، المركز القومى للبحوث الاجتماعية والجنائية، 1977: ص 33-151.
- (A320) الساعاتى، سامية حسن: دور المثقفات المصريات فى التغير الاجتماعى - بحث اجتماعى - تاريخى. المجلة الاجتماعية القومية (2/3)، 17، 1980: ص 121-148.
- (A321) الساعاتى، سامية حسن: دور المرأة المجتمع المصرى الحديث - تحليل اجتماعى ثقافى. المجلة الاجتماعية القومية (2/3)، 12، 1975: ص 91-119.
- (A322) الساعاتى، سامية حسن: ديناميات الأسرة الريفية والتنمية. (أبحاث الندوة الدولية عن المرأة الريفية والتنمية) القاهرة، جامعة عين شمس، مركز بحوث الشرق الأوسط، 1980: ص 137-155.
- (A323) الساعاتى، سامية حسن: المعوقات الثقافية والمشاركة التنمية للمرأة المصرية الريفية - تحليل نقدى. (ندوة المرأة والتنمية القومية) القاهرة، المركز الاقليمى العربى للبحوث والتوثيق فى العلوم الاجتماعية، 1984: ص 37-45.
- (A324) سعيد، كمال: تأثير التنشئة الاجتماعية على أداء المرأة لدورها. المجلة الاجتماعية القومية (1/3)، 14، 1977: ص 231-265.

- (A325) سمعان، انجيل بطرس : صورة المرأة الريفية فى الرواية المصرية المعاصرة . (أبحاث الندوة الدولية عن المرأة الريفية والتنمية) القاهرة ، جامعة عين شمس ، مركز بحوث الشرق الأوسط ، 1980 : ص 113-122 .
- (A326) شكرى، علياء : المشاركة الاقتصادية للمرأة الريفية فى التنمية - العمل غير المأجور . (ندوة المرأة والتنمية القومية) القاهرة ، المركز الاقليمي العربى للبحوث والتوثيق فى الاجتماعية ، 1984 : ص 72-79 .
- (A327) شكرى، علياء وحسن الخولى وأحمد زايد : المرأة فى الريف والحضر - دراسة لحياتها فى العمل والاسرة . اسكندرية ، دار المعرفة الجامعية ، 1988 .
- (A328) العبد، عاطف عدلى : المرأة الريفية . القاهرة ، دار المعارف ، 1983 . ص 163 .
- (A329) عبد المعطى، عبد الباسط : الوضع الاجتماعى للمرأة القروية المصرية ، تحليل تاريخى معاصر . المجلة الاجتماعية القومية (2) 12 ، 1975 : ص 121-136 .
- (A330) عويس ، سيد : المفهوم العام للمرأة المصرية المعاصرة . المجلة الاجتماعية القومية (2/3) 12 ، 1975 : ص 77-89 .
- (A331) محمد، أحمد طه : المرأة المصرية بين الماضى والحاضر . القاهرة ، مطبعة دار التأليف ، 1979 . ص 254 .
- (A332) مصر . وزارة الشؤون الاجتماعية . اللجنة القومية المرأة : بحث أوضاع المرأة المصرية واحتياجاتها . القاهرة ، 1982 . ص 236 .
- (A333) نايف، سعاد : وضع المرأة الريفية فى الاسرة والمجتمع الريفى . (تقرير الدورة التدريبية عن برنامج ارشاد المرأة الريفية والتخطيط لحياة عائلية أفضل ، بغداد من 6 الى 20 نوفمبر 1976) القاهرة ، 1977 : ص 63-75 .

<文献目録—欧語>

- (E253) Abaza, Mona : The changing image of women in rural Egypt. Cairo, American University in Cairo Press, 1987. 119 p. (Cairo papers in social science, 10(3))
- (E254) Abaza, Mona : Feminist debates and "traditional feminism" of the fellaha in rural Egypt. University of Bielefeld, 1987. (Sociology of Development Research Centre Working paper 93)
- (E255) Abdul-Ati, H. : Modern problems, classical solutions ; an Islamic perspective on the family. Journal of comparative family studies 5(2) Autumn, 1974 : p. 34-54.
- (E256) Abousenna, Mona : An Egyptian literary perspective of the rural woman. (Proceedings of the International Seminar on Rural Women & Development, edited by Mourad Wahba) Cairo, Ain Shams University, 1980 : p. 161-176.
- (E257) Abu-Lughod, Janet : Feildwork of a dutiful daughter. (Arab women in the field ; studying your own society, edited by Soraya Altorki & Camillia F. El-Solh) Cairo, American University in Cairo Press, 1988: p. 139-161.
- (E258) Abu-Lughod, Janet : Rural urban differences as a function of the demographic transition, Egyptian data and an analytical model. American journal of sociology 69, 1964 : p. 476-490.
- (E259) Abu-Lughod, Janet : Migrant adjustment to city life ; the Egyptian case. American journal of sociology 67(4) Jul. 1961 : p. 22-32.
- (E260) Abu-Zahra, N.: On the modesty of Arab Muslim villagers ; a reply. American anthropologist 72(5) Oct. 1970 : p. 1079-1087.
- (E261) Altorki, Soraya : At home in the field. (Arab women in the field ; studying your own society, edited by Soraya Altorki & Camillia F. El-Solh) Cairo, American University in Cairo Press, 1988 : p. 49-68.
- (E262) Assaad, Marie Bassili : Female circumcision in Egypt ; social implications current research, and prospects for change. Studies in family planning 11(1) Jan. 1980 :

p. 3-16.

- (E263) Atiya, Nayra : Khul-khaal ; five Egyptian women tell their stories. Cairo, American University in Cairo Press / Syracuse, Syracuse University Press, 1982. 177 p.
- (E264) el-Bayoumi, S.: Sex role differentiation and illness behavior in an Egyptian Nile Delta community. 1976. (Paper presented at the MESA Meeting)
- (E265) Brink, Judy H.: The effect of emigration of husbands on the status of their wives ; an Egyptian case. *International journal of Middle East studies* 23(2) May, 1991 : p. 201-211.
- (E266) Cairo Demographic Centre : Family and marriage in some African and Asiatic countries. Cairo, 1976. 570 p. (Research monograph series, no. 6)
- (E267) Cairo Demographic Centre : Urbanization and migration in some Arab and African countries. Cairo, 1973. 528 p.
- (E268) Dodd, Peter C.: Family honor and the forces of change in Arab society. *International journal of Middle East studies* 4(1) Jan. 1973 : p. 40-54.
- (E269) Early, Evelyn : Fatima ; a life history of an Egyptian woman from Bulaq. (Women and the family in the Middle East ; new voice of change, edited by Elizabeth W. Fernea) Austin, University of Texas Press, 1985 : p. 76-83.
- (E270) Fernea, Elizabeth Warnock & Basima Bezirgan Qattan : Middle Eastern Muslim women speak. Austin, University of Texas Press, 1977. 459 p.
- (E271) Fernea, Elizabeth Warnock (ed.) : Women and the family in the Middle East ; new voices of change. Austin, University of Texas Press, 1985. 356 p.
- (E272) Geiser, P.: Cairo's Nubian families. Cairo, American University in Cairo Press, 1980. 82 p. (Cairo papers in social science 4(1))
- (E273) el-Gharib, R.: The family in Egypt ; analytical and psychological study. (Education and modernization in Egypt, edited by Kotb) Cairo, Ain Shams University, 1972.

- (E274) Glavanis, Kathy : Aspects of non-capitalist social relations in rural Egypt ; the small peasant household in an Egyptian Delta village. (Family and work in rural societies, edited by N. Long) London, Tavistock, 1984 : p. 30-60.
- (E275) Hammam, M.: Labor migration and the sexual division of labor. MERIP report (95) 1981 : p. 3-11, 31.
- (E276) Hansen, H. H.: Clitoridectomy ; female circumcision in Egypt. Folk (Koben Haven) 14/15, 1972/73 : p. 16-26.
- (E277) Hatem, Mervat : Underdevelopment, mothering and gender within the Egyptian family. Arab studies quarterly 8(1) 1986 : p. 45-61.
- (E278) Hatem, Mervat : Class and patriarchy as competing paradigms for the study of Middle Eastern women. Comparative studies in society and history 29(4) 1987 : p. 811-818.
- (E279) Joseph, Suad : Feminization, familism, self, and politics ; research as a Mughtaribi. (Arab women in the field ; studying your own society, edited by Soraya Altorki & Camillia F. El-Solh) Cairo, American University in Cairo Press, 1988 : p. 25-47.
- (E280) el-Katsha, Samiha, et al. : Women, water, and sanitation : household water use in two Egyptian villages. Cairo, American University in Cairo Press, 1989. 96 p. (Cairo papers in social science, 12(2))
- (E281) Khafagy, Fatma : Women and labour migration ; one village in Egypt. MERIP reports (124) 1984 : p. 17-21.
- (E282) Khattab, H. & Syada el-Daeif : The impact of male migration on the structure of the family and roles of women in Egypt. Cairo, Population Council, 1982.
- (E283) Kilpatrick, H.: 'The position of women', in the modern Egyptian novel ; a study in social criticism. London, Ithaca Press, 1974 : p. 172-178.
- (E284) Krieger, L.: Negotiating gender role expectations in Cairo. (Self, sex, and gender in cross-cultures fieldwork, edited by T. L. Whitehead & M. E. Conway) Urbana, University of Illinois Press, 1986 : p. 117-128.

- (E285) Lichtenstädter, Ilse : An Arab-Egyptian family. *Middle East journal* 6(4) Autumn, 1952 : p. 379-399.
- (E286) Lichtenstädter, Ilse : An Arab-Egyptian family. (Readings in Arab Middle Eastern societies and cultures, edited by Abdulla M. Lutfiyya & Charles W. Churchill) The Hague, Mouton, 1970 : 602-618.
- (E287) el-Messiri, Sawsan : Self-images of traditional urban women in Cairo. (Women in the Muslim world, edited by Lois Beck & Nikki Keddie) Cambridge, Harvard University Press, 1978 : p. 522-540.
- (E288) Moris, Zailan : The Sufi perspective on the feminine state. *Islamic quarterly* 36(1) 1992 : p. 46-57.
- (E289) Morsy, Soheir A. : Agrarian transformation and male-female power relations in the Egyptian Delta. *Newsletter (American Research Center in Egypt)* (117) 1982 : p. 49-56.
- (E290) Morsy, Soheir : Fieldwork in my Egyptian homeland ; toward the demise of anthropology's distinctive-other hegemonic tradition. (Arab women in the field ; studying your own society, edited by Soraya Altorki & Camillia F. El-Solh) Cairo, American University in Cairo Press, 1988 : p. 69-90.
- (E291) Morsy, Soheir A. : Gender, power and illness in an Egyptian village. *American ethnologist* 5(1) 1978 : p. 137-150.
- (E292) Morsy, Soheir A. : Rural women, work and gender ideology ; a study in Egyptian political economic transformation. (Women in Arab society; work patterns and gender relations in Egypt, Jordan and Sudan, by S. Shami et al.) Providence, R.I., Berg/UNESCO, 1990 : p.87-159.
- (E293) Morsy, Soheir A. : Sex difference and folk illness in an Egyptian village. (Women in the Muslim world, edited by Lois Beck & Nikki Keddie) Cambridge, Harvard University Press. 1978 : p. 599-616.
- (E294) Nadim, Nawal al-Messiri : Family relationships in a 'harah' in Cairo. (Arab society ; social science perspectives, edited by Saad Eddin Ibrahim & Nicholas S. Hopkins)

- Cairo, American University in Cairo Press, 1985 : p. 212-222.
- (E295) Nelson, Cynthia : Changing roles of men and women ; illustrations from Egypt. *Anthropological quarterly* 41, Apr. 1968 : p. 57-77.
- (E296) Nelson, Cynthia : Public and private politics ; women in the Middle Eastern world. *American ethnologist* 1, Aug, 1974 : p. 551-563.
- (E297) Nelson, Cynthia : Women and power in Nomadic societies in the Middle East. (The Desert and the sown, edited by C. Nelson) Berkeley, Institute of International Studies, 1973 : p. 43-60.
- (E298) Rugh, Andrea : Coping with poverty in a Cairo community. Cairo, American University in Cairo Press, 1979. 100 p. (Cairo papers in social science 2(1))
- (E299) Rugh, Andrea : Family in contemporary Egypt. Syracuse, Syracuse University Press, 1984. 305 p.
- (E300) Rugh, Andrea : Orphanages and homes for the aged ; contradiction or affirmation in a family-based society. *International journal of the sociology of the family* 11(2) Jul.-Dec. 1982.
- (E301) al-Saadawi, Nawal : Women at the point zero. London, Zed Press, 1980. 108 p.
- (E302) Shami, Seteney : Studying your own. (Arab women in the field ; studying your own society, edited by Soraya Altorki & Camillia F. El-Solh) Cairo, American University in Cairo Press, 1988 : p. 115-138.
- (E303) el-Solh, Camillia Fawzi : Gender, class and origin ; aspects of role during fieldwork in Arab society. (Arab women in the field ; studying your own society, edited by Soraya Altorki & Camillia F. El-Solh) Cairo, American University in Cairo Press, 1988 : p. 91-114.
- (E304) el-Solh, Camillia Fawzi : Migration and the selectivity of change; Egyptian peasant women in Iraq. *Peuples méditerranéens* 31(2) 1985 : p. 243-257.
- (E305) Sukkary-Stolba, S.: Changing roles of women in Egypt's newly reclaimed lands.

Anthropological quarterly 58(4) 1985 : p. 182-189.

- (E306) Sullivan, Earl L.: Health, development, and women. (Women, health, and development, edited by C. Nelson) Cairo, American University in Cairo, 1977 : p.66-84. (Cairo papers in social science, 1(1))
- (E307) Taylor, Elizabeth : Egyptian migration and peasant wives. MERIP reports 14(5) 1984 : p. 3-10.
- (E308) Taylor, Elizabeth : Egyptian migration and peasant wives (1). (The Middle Eastern village, edited by Richard Lawless) London, Croom Helm, 1987 : p. 255-272.
- (E309) Wikan, Unni : Life among the poor in Cairo. London, Tavistock Publications, 1980. 173 p.